

第1回 道の駅整備推進有識者会議 会議記録

議題	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 委員、アドバイザー自己紹介</p> <p>4 意見交換</p> <p>(1) 道の駅整備推進有識者会議の目的と開催スケジュールについて</p> <p>(2) 道の駅について</p> <p>(3) 参考事例について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>
日時	平成27年8月5日(水) 15時00分～16時30分
場所	茅ヶ崎市役所 分庁舎5階 特別会議室
出席者氏名	<p>委員:10名</p> <p>山口委員、新谷委員代理、大川委員、北村委員、栗田委員、後藤委員、小川委員、永野委員、千葉委員、梅津委員</p> <p>道の駅整備推進アドバイザー:2名</p> <p>斉藤アドバイザー、中島アドバイザー</p> <p>オブザーバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所 ・神奈川県県土整備局道路部道路企画課・道路管理課 ・神奈川県警察本部交通部交通規制課 ・関東「道の駅」連絡会事務局 <p>茅ヶ崎市</p> <p>服部市長、山崎副市長、朝倉経済部理事兼部長、川口建設部長、高橋道路建設課長</p> <p>事務局</p> <p>産業振興課 横溝道の駅整備推進担当課長、須田担当主査、島崎主任</p>
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	0名
非公開の理由	

(会議の概要)

4 意見交換

(1) 道の駅整備推進有識者会議の目的と開催スケジュールについて

資料2、3について事務局より説明

山口委員	有識者会議の開催時間は毎回同じ時間となるのか。
事務局	開催時間は毎回調整をする。開催時間について、ご意見があれば頂戴したい。
山口委員	できれば開催時刻は一定が良い。
斉藤アドバイザー (進行役)	開催時間については、毎回調整をしながらより多くの方が出席できるように進めていく。

(2) 道の駅について

資料4、5、当日配布資料1について事務局より説明

千葉委員	基本計画と基本設計の違いと詳細は何か。また、有識者会議の意見はどちらに反映されるのか。
事務局	本会議は、基本計画の策定にあたってご意見をいただく場と考えている。基本設計については、本会議のご意見やパブリックコメント等をふまえて市がまとめる。
後藤委員	全国モデル「道の駅」、重点「道の駅」、重点「道の駅」候補とあるが、茅ヶ崎の道の駅はどちらに該当するのか。
事務局	国土交通省が道の駅に対するモデル事業を募集したため、市として柳島向河原に道の駅を整備したいという企画提案書を提出したところ、地域活性化の拠点となる意欲的な取組が期待されるとして、重点「道の駅」候補に選ばれた。本事業は今後計画が進行する道の駅であるため、今後は、重点「道の駅」に選定されること目指していきたいと考えている。
オブザーバー (横浜国道事務所)	道の駅は登録制となっている。市長から神奈川県知事を経由して国土交通省道路局長宛に登録手続きを行う。登録証書が発行されて道の駅となる。
後藤委員	道の駅の登録されないことはあるのか。
オブザーバー (横浜国道事務所)	申請前に関係機関と十分な調整をおこなっている事が殆どと考えられるため、登録出来なかった事例は聞いたことはない。
斉藤アドバイザー (進行役)	登録要件からはずれないように整備を進めていくことが基本になる。
山口委員	重点「道の駅」の重点という意味は何か。
オブザーバー (横浜国道事務所)	重点「道の駅」の制度は新たにできた。全国の模範となる代表的な道の駅を選定し、より良い道の駅の整備を進めていくことを目的としている。

中島アドバイザー	重点「道の駅」の制度は、各省庁がどこの道の駅を助成等の応援をすると良いのか、分かりやすくすることが目的である。全国モデル「道の駅」は地方創生の拠点となるものを選定し、重点「道の駅」はそれに準ずる道の駅を選定し、重点「道の駅」候補はこれから整備され、意欲的な取り組みが計画されている道の駅を選定した。今後、地域が連携した取り組みにより、茅ヶ崎の道の駅は重点「道の駅」に選定される可能性がある。重点「道の駅」に選ばれるためにも、完成までの間に様々な情報発信をしていく必要がある。
山口委員	本会議は基本設計のどの程度の割合を占めるのか。
事務局	本会議で出る様々な意見はできる限り基本計画に反映させ、基本計画を踏まえて基本設計を行っていく。様々な立場の委員と意見交換を行うことが目的の一つである。
山口委員	従来の道の駅はトイレ等の休憩所の要素が多いと感じる。本会議では、茅ヶ崎の道の駅は従来の道の駅のイメージにとらわれない、新しい発想で整備する方針であるのか。例えば、姉妹都市であるホノルルをイメージした道の駅にする発想がありうるのか。
斉藤アドバイザー (進行役)	トイレ休憩のみならず、地域性のある魅力的な道の駅を展開していくことが非常に重要である。
山口委員	海老名 SA に代表されるような、新しい SA を参考にすると良いのではないか。
事務局	道の駅の基本コンセプトを踏まえた上で、委員の皆様から様々なアイデアをご意見として頂戴したい。
斉藤アドバイザー (進行役)	基本コンセプトの「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域連携機能」も新しいイメージの中で連携・連動していけると良いと思う。
栗田委員	全国の道の駅を利用者の年代が分かる資料はあるのか。年代によっては電車の利用が多いかもしれない。基本構想をする上で、道の駅利用者の想定は重要である。
事務局	マーケティングや利用客を想定する上で重要である。次回以降、参考となる資料を用意したい。
永野委員	地元が活性化するためには地元の人が毎日訪れる施設である必要がある。本会議では、地元の人にかわいがられる構想について話し合って考えたい。
梅津委員	3箇所の候補地があった中で、海に近く津波の危険性がある柳島向河原を選定した経緯は何か。また、この地を選定する上で道の駅の基本コンセプトの一つである防災機能について考慮したのか。

茅ヶ崎市	道路利用者が多く、将来的に最も施設利用者が多いと見込まれるため、柳島向河原を選定した。津波浸水被害の対策として、計画予定地を道路面と同じ高さまで盛土をする想定をしている。防災機能は、神奈川県津波ハザードマップ等を考慮して詳細設計で詰めていく。
梅津委員	大勢の人が集まる施設であるのに、防災対策が検討段階で道の駅整備の計画を進めて良いのか。
茅ヶ崎市	日常的に人が集まる施設でなければならないと考えている。災害の対策を考えながら計画を進めていきたい。
斉藤アドバイザー (進行役)	施設内、あるいは地域全体の防災機能を組み込んだイメージが分かる資料を今後提示する。

(3) 参考事例について

資料6、当日配布資料2について事務局より説明

斉藤アドバイザー (進行役)	八王子滝山を参考事例に入れた理由は何か。
事務局	都市型といわれる道の駅であるため、参考事例としている。しかし、八王子滝山では野菜直売所が中心となっており、参考にできることばかりではない。
山口委員	海岸に近い道の駅の事例はないのか。防災面、海産物の販売においても参考になるのではないかと。サンフランシスコのフィッシャーマンズワープのような環境が茅ヶ崎にはあるので参考にすると良い。
事務局	臨海部に立地する道の駅の防災対策等、参考になる資料を今後用意する。
中島アドバイザー	萩しーまーとは魚の地産地消を行っている。また、山形の遊佐では市場で購入した魚介類をレストランで焼いて食べられる。八王子滝山は中央道 IC から帰り道に寄れるような道の駅であり、茅ヶ崎とは異なる。一方で、青森などには多くの地元の方が訪れ、地産地消が行われている事例も多くある。
オブザーバー (横浜国道事務所)	八王子滝山は都市型「道の駅」として、地元市民をターゲットにして事業を展開しているので、参考となる点もある。
千葉委員	トイレに関して詳細を細かく把握する必要がある。男性用の個室と小便器の数の内訳や、身体障害者用は車椅子用、オストメイトなどのユニバーサルデザインに配慮した詳細情報を知りたい。
梅津委員	良い道の駅を目指す上で改善点の把握することも重要である。道の駅のマイナス面もピックアップして資料を作成してほしい。
事務局	できる限り整理していきたいと考えている。

5 その他	
山口委員	圏央道開通後の県外・市外からの交通量が分かる資料がほしい。
事務局	圏央道開通後、交通量は増加したと聞いているが、具体的な資料があるか確認し整理する。
オブザーバー (神奈川県警察本部 交通部交通規制課)	国道134号からの右折進入はあるのか。2車線を横断する右折はできない。
事務局	右折進入については今後検討を行う。
千葉委員	信号交差点に右折表示を設置し、鉄砲道に進入できるようにする方法もある。
オブザーバー (神奈川県警察本部 交通部交通規制課)	交差点で右折するのであれば問題ない。
中島アドバイザー	道の駅に直接右折進入するための信号機を設置する事例もある。ただし、茅ヶ崎の場合はこれから検討していく。
オブザーバー (神奈川県警察本部 交通部交通規制課)	茅ヶ崎の道の駅は大規模小売店舗立地法に関係するのか。
事務局	今後検討していく点なので、説明ができる資料を作成する。

アドバイザーより	
中島アドバイザー	昭和時代に長距離ドライブの増加に伴い、トイレ休憩のできる場所の需要が高まり、道の駅ができた。休憩機能だけではなく情報発信機能や地域交流機能を重ねてやってくることとなった。地域交流機能により6次産業が生まれ地域を明るくするような例も耳に入っている。道の駅の基本コンセプトだけではなく、新しい地域のアイデアを本会議で活発な意見を出していけたら良いと思う。
斉藤アドバイザー	地域からの新たな魅力の発信ができる、アイデアを見つけ出し考えていけたらよい。また、臨海部であるので安全性についても考えていかなければならない。地域全体の活性化も需要となる。便利となる交通ネットワークを活用した広域的な魅力の拠点づくりについて、本会議で考えていきたい。
事務局	次回は8月28日(金)10時からを予定している。
北村委員	午前中は仕事をしているので参加が難しい。
事務局	詳細は改めて文書にて通知する。

以上